

- 1 日 時 平成 28 年 7 月 30 日（土） 10：30～11：45
- 2 場 所 文化センター
- 3 参加者 図書館ボランティア「絵本の部屋」 2 名
（市側）都市デザイン課 本間主査、今井主事、図書館 永田主査

<ライブラリーセンター>

- ・大人と子供のスペースやお話会をするスペースを完全に区切るのではなく、空間の共有ができるソフトバリエーションが理想であるが、お話会の空間はオープンすぎると雰囲気作りがしづらい。静かに本を読みたい大人のためにも、音に配慮した工夫が必要だと思う。反面、子供が図書館に本を返しに行ったら、お話会をしているのに気付いて途中で参加できるような動線を確保したい。
- ・ひらた図書センターは光が入って明るくて、本を選びやすく、児童スペースは絨毯になっている。一方で、カウンターから死角になって子供の動きが見えなかったり、本が日焼けてしまったりという声がある。
- ・酒田市の児童図書は絵本と読み物の境目がわかりづらいところもある。
- ・小学校高学年でも絵本好きな子がいるが、児童図書室と一般図書室の置いてある場所が分かれていると借りにくいかもしれない。
- ・子供の目線で、スペースの問題があるが、本を探しにくい。現在の図書館で平置きできるスペースは少なく、壁一面に面陳のスペースがあるといい。季節毎やテーマ別にピックアップするのもいいかもしれない。作家で本を探すのは大人で、子供はタイトルと話の内容で本を選ぶ。
- ・夜間、休館日の返却ボックスをわかりやすくしてほしい
- ・（児童書は）床をカーペットか靴の音が響かないような素材がいい。
- ・以前のラストリーフ（現在の Nico）のような本を落ち着いて読めるような空間だといい。

<蔵書関係>

- ・図書館のスペースが約 2 倍になるとのことで、児童図書の蔵書数も増えると思うが、資料の充実も大事になると思う。
- ・スペースの問題もあると思うが、絵本のスペースに科学本がない。科学本での読み聞かせもしている。

<カフェ>

- ・本屋が用意している喫茶店やカフェは価格帯が高いイメージがある。子連れの人が利用するのであれば、庶民的な親しみやすいカフェが併設されるといい。
- ・図書館に併設されているカフェを利用する人は、時間と本を求めていると思うので、雰囲気重視でそういう人向けのカフェにするのもいいのかもしれない。

<駐車場関係>

- ・駅前の図書館には車で来る人が多いと思うので、駐車場の心配がないよう、広いスペースを確保して欲しい。

<学校等との連携関係>

・同じ流行っている本を学校図書と市立図書館が両方持つ必要はないし、物理的に厳しいと思うのでどちらかが持つという連携があればいい。

・ブックスタートの取り組みをしているが、家で読み聞かせ（家読）や図書館での取り組みも大事になってくる。子育てにもつながっていく。乳児から図書カードもある。好きで続ける子と続けない子の差が大きくなっていく。学校での取り組みの差もある。物でなくてもいいので、目に見える（シール等）がもらえるなどがあればいいかもしれない。

<その他>

・図書館だけを目的に来ているのではなく、文化センターで活動している人が図書館も利用するという人が多いので、人の流れや利用の便が変わる不安や戸惑いはある。